

**TOSHIBA**

# 2022年度 第3四半期決算

2023年2月14日  
株式会社 東芝  
代表執行役専務 CFO

**平田 政善**

# 注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。詳細については、有価証券報告書及び四半期報告書をご参照ください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの9ヶ月累計です。
- 注記が無い限り、セグメント情報における業績を、現組織ベースに組み替えて表示しています。
- 当社はキオクシアホールディングス(株)（以下「キオクシア」）の経営に関与しておらず、同社の業績予想を入手していないため、当社グループの財政状態、経営成績またはキャッシュ・フローの見通しにはキオクシアの影響は含まれておりません。

# 今回ご説明のポイント

22/1-3Q実績は、一時的要因を主因として対前年同期で減益  
22年度業績予想は、一時的要因の増加により前回予想(11/11公表)を変更

- 22/1-3Q実績の営業損益は、HDD製品保証引当金(約▲120億円)、プリンティング事業のれん減損<sup>※1</sup>(▲206億円)、HDD市況の急激な変動影響、発電システムに係わる製品保証引当金等(▲135億円)などを主因に対前同減益

➤ 売上高	21/1-3Q	23,551億円	→	22/1-3Q	23,702億円	(対前同	+151億円)
➤ 営業損益	21/1-3Q	876億円	→	22/1-3Q	81億円	(対前同	▲795億円)
➤ 当期純損益	21/1-3Q	1,149億円	→	22/1-3Q	840億円	(対前同	▲309億円)

- 22年度業績予想は、上記要因の増加により前回予想(11/11公表)を変更

➤ 営業損益	前回予想	1,250億円	→	今回予想	950億円	(対前回	▲300億円)
➤ 当期純損益(参考値) <sup>※2</sup>	前回予想	1,900億円	→	今回予想	1,300億円	(対前回	▲600億円)
							(キオクシア持分法損益(3Q実績)▲339億円)

※1 米国会計基準に基づく東芝連結上の会計処理であり、東芝テック連結上は日本会計基準に従ってのれんの均等償却を行っており、当該残高については21年度末時点でほぼ償却済み。

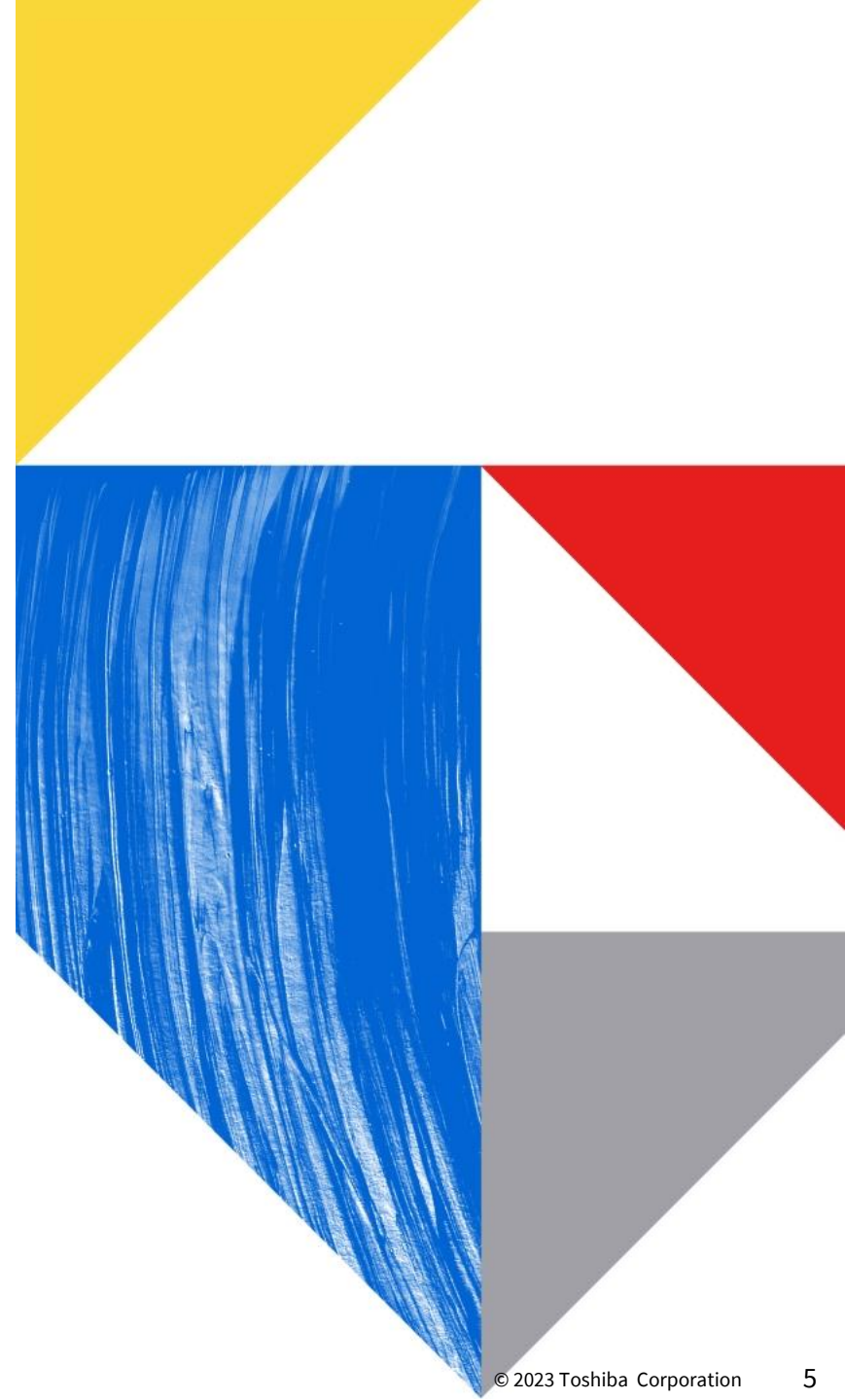
※2 22年度見通しは、キオクシアの持分法損益の将来見通しを織り込んでいない参考値です。

# 本日のご説明内容

- 01 全社業績
- 02 セグメント業績
- 03 2022年度業績予想
- 04 補足説明事項

# 01

## 全社業績



# 損益項目

## 営業損益は減益、営業外損益は増益も当期純損益は減益

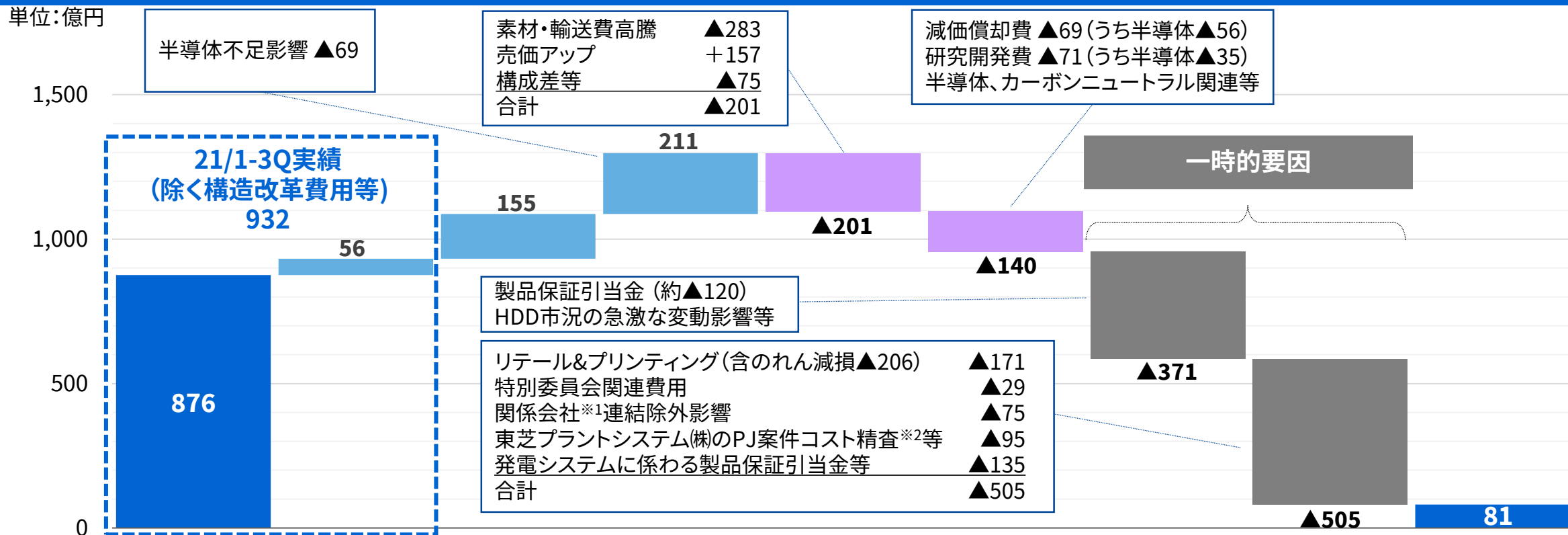
	21/1-3Q	22/1-3Q	差	主な差異要因
売上高 伸長率	23,551	<b>23,702</b>	+151 +1%	(↑) エネルギーシステムSL、インフラシステムSL、リテール&プリンティングSL デジタルSL、その他 (↓) ビルSL、デバイス&ストレージSL うち為替影響 +1,726
営業損益 ROS	876 3.7%	<b>81</b> <b>0.3%</b>	▲795 ▲3.4%pt	(↑) インフラシステムSL、デジタルSL (↓) エネルギーシステムSL、ビルSL、リテール&プリンティングSL デバイス&ストレージSL、その他 うち為替影響 +207
EBITDA <sup>※1</sup> EBITDAマージン	1,524 6.5%	<b>981</b> <b>4.1%</b>	▲543 ▲2.4%pt	
税引前損益	1,521	<b>1,201</b>	▲320	(↓) 営業損益 ▲795 営業外損益 +475
当期純損益 一株当たり当期純損益 発行済株式数（千株） <sup>※2</sup>	1,149 259.60円 442,678	<b>840</b> <b>194.18円</b> <b>432,639</b>	▲309 ▲65.42円 ▲10,039	
期中平均為替レート （米ドル）	111円	<b>136円</b>	+25円	

単位：億円  
(↑):改善要因  
(↓):悪化要因

※“SL”はソリューションの略 ※1 EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん減損 ※2 発行済株式数は期中平均発行数(自己株式控除後)

# 営業損益分析 (21/1-3Q→22/1-3Q)

## HDD、リテール&プリンティング、発電システム等の一時的要因により対前同減益



上期	450	43	107	187	▲149	▲116	▲255	▲240	27
3Q	426	13	48	24	▲52	▲24	▲116	▲265	54
1-3Q	876	56	155	211	▲201	▲140	▲371	▲505	81

21/1-3Q実績

21/1-3Q  
構造改革費用等

為替差

増減収等※3

収益力変動要因※4

成長固定費

HDD他※5

リテール&プリンティング  
その他

22/1-3Q実績

※1 東芝キャリア(株)、中部東芝エンジニアリング(株) ※2 東芝プラントシステム(株)においてプロジェクト管理を強化してコスト精査を実施し、将来の損失リスクを極小化

※3 増減収、固定費増減等 ※4 構造改革、素材・輸送費高騰、売価、構成差等 ※5 HDD、部品材料、転売等



# 営業外損益

## 持分法損益の悪化も有価証券売却損益の改善等により対前同増益

単位:億円

	21/1-3Q	22/1-3Q	差	
金融収支	▲8	※1 <b>143</b>	+151	※1:東芝キャリア(株)からの特別配当 154
為替差損益	26	▲84	▲110	
固定資産売却損益	▲10	40	+50	
有価証券売却損益	19	※2 <b>919</b>	+900	※2:東芝キャリア(株)の売却益 618 広東美芝精密製造社および 広東美芝コンプレッサー社の売却益 200 中部東芝エンジニアリング(株)の売却益 100
訴訟和解費用	▲34	▲97	▲63	
持分法損益	490	8	※3 ▲482	※3:キオクシア持分法損益差 ▲472 (21/1-3Q 386→22/1-3Q ▲86)
その他	※4 162	※5 <b>191</b>	+29	※4:米国子会社清算に伴う外貨換算調整額の実現 訴訟損失引当金戻入 ※5:東芝キャリア株の残存持分再評価益 100
合計	645	<b>1,120</b>	+475	



# キャッシュ・フロー／バランスシート項目

	21/1-3Q	22/1-3Q	差	主な差異要因
フリー・キャッシュ・フロー	840	▲267	▲1,107	
営業キャッシュ・フロー	1,652	▲569	▲2,221	(▼) EBITDA、前受金減少などの運転資金悪化等
投資キャッシュ・フロー	▲812	302	+1,114	(↗) 有価証券売却影響※ <sup>1</sup> 等

単位：億円  
(↗):改善要因  
(▼):悪化要因

	22/3末	22/12末	差	主な差異要因
株主資本	12,066	11,887	▲179	(↗) 当期純損益 +840 その他の包括損益累計額 +236
株主資本比率	32.3%	33.9%	+1.6%pt	(▼) 配当 ▲1,255
Net有利子負債 ※	812	2,111	+1,299	(▼) 配当 ▲1,325 (▼) フリー・キャッシュ・フロー ▲267
除く、オペレーティングリース債務	▲279	1,165	+1,444	(↗) 売却目的保有の現預金増減影響※ <sup>2</sup> +217
Net D/Eレシオ	7%	18%	+11%pt	
除く、オペレーティングリース債務	▲2%	10%	+12%pt	

※1 東芝キャリア(株)、広東美芝精密製造社および広東美芝コンプレッサー社、中部東芝エンジニアリング(株)の有価証券売却影響

※2 東芝キャリア(株)及びその傘下会社にかかる現金及び現金同等物の減少影響

※ Net有利子負債がマイナスの場合、Netキャッシュの状態(現金同等物が有利子負債を上回る)であることを示しています。

# 詳細項目

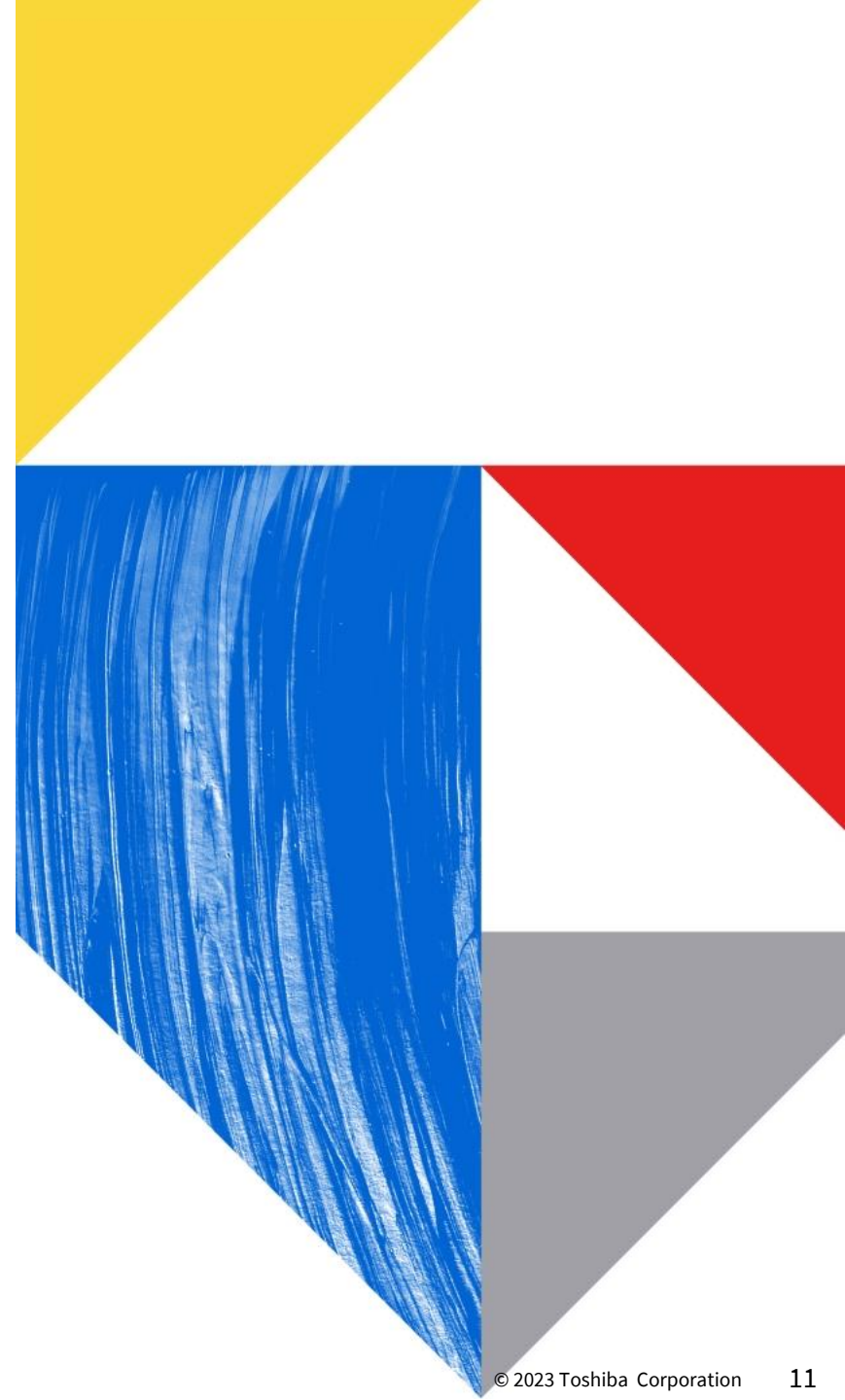
単位:億円

	21/1-3Q	22/1-3Q	差
売上高	23,551	<b>23,702</b>	+151
営業損益	876	<b>81</b>	▲795
営業外損益	645	<b>1,120</b>	+475
税引前損益	1,521	<b>1,201</b>	▲320
税金費用	▲227	▲ <b>257</b>	▲30
非支配持分控除前当期純損益	1,294	<b>944</b>	▲350
非支配持分帰属損益	▲145	▲ <b>104</b>	+41
当期純損益	1,149	<b>840</b>	▲309
1株当たり当期純損益	259.60円	<b>194.18円</b>	▲65.42円
フリー・キャッシュ・フロー	840	▲ <b>267</b>	▲1,107

	22/3末	22/12末	差
株主資本	12,066	<b>11,887</b>	▲179
株主資本比率	32.3%	<b>33.9%</b>	+1.6%pt
純資産	13,667	<b>12,900</b>	▲767
Net有利子負債	812	<b>2,111</b>	+1,299
Net D/Eレシオ	7%	<b>18%</b>	+11%pt
期末日為替レート(米ドル)	122円	<b>133円</b>	+11円

# 02

## セグメント業績



# セグメント業績

						単位:億円	
		21/1-3Q	22/1-3Q	差	(伸長率)	22/3Q	対前同
エネルギーシステム ソリューション	売上高	3,615	<b>4,402</b>	+787	(+22%)	<b>1,597</b>	+342
	営業損益	81	<b>▲109</b>	▲190		<b>▲59</b>	▲95
	ROS	2.2%	<b>▲2.5%</b>	▲4.7%pt		<b>▲3.7%</b>	▲6.6%pt
インフラシステム ソリューション	売上高	4,166	<b>4,450</b>	+284	(+7%)	<b>1,448</b>	+3
	営業損益	69	<b>83</b>	+14		<b>51</b>	▲15
	ROS	1.7%	<b>1.9%</b>	+0.2%pt		<b>3.5%</b>	▲1.1%pt
ビル ソリューション	売上高	4,345	<b>3,484</b>	▲861	(▲20%)	<b>903</b>	▲584
	営業損益	179	<b>41</b>	▲138		<b>34</b>	▲43
	ROS	4.1%	<b>1.2%</b>	▲2.9%pt		<b>3.8%</b>	▲1.4%pt
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	3,346	<b>3,768</b>	+422	(+13%)	<b>1,306</b>	+177
	営業損益	87	<b>▲84</b>	▲171		<b>▲39</b>	▲83
	ROS	2.6%	<b>▲2.2%</b>	▲4.8%pt		<b>▲3.0%</b>	▲6.9%pt
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	6,598	<b>6,001</b>	▲597	(▲9%)	<b>1,969</b>	▲300
	営業損益	558	<b>292</b>	▲266		<b>90</b>	▲121
	ROS	8.5%	<b>4.9%</b>	▲3.6%pt		<b>4.6%</b>	▲4.7%pt
デジタル ソリューション	売上高	1,561	<b>1,589</b>	+28	(+2%)	<b>541</b>	+15
	営業損益	132	<b>135</b>	+3		<b>52</b>	+5
	ROS	8.5%	<b>8.5%</b>	+0.0%pt		<b>9.6%</b>	+0.7%pt
その他	売上高	1,608	<b>1,627</b>	+19	(+1%)	<b>533</b>	0
	営業損益	▲279	<b>▲324</b>	▲45		<b>▲96</b>	▲14
消去	売上高	▲1,688	<b>▲1,619</b>	+69		<b>▲547</b>	+10
	営業損益	49	<b>47</b>	▲2		<b>21</b>	▲6
合計	売上高	23,551	<b>23,702</b>	+151	(+1%)	<b>7,750</b>	▲337
	営業損益	876	<b>81</b>	▲795		<b>54</b>	▲372
	ROS	3.7%	<b>0.3%</b>	▲3.4%pt		<b>0.7%</b>	▲4.6%pt

※ 2022年8月1日の株式譲渡完了に伴い、東芝キャリア(株)は当社の連結対象から外れています。

# エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21/1-3Q	22/1-3Q	差	主な差異要因	22/3Q	対前同
エネルギーシステム ソリューション	売上高	3,615	<b>4,402</b>	+787	為替影響 +238	<b>1,597</b>	+342
	営業損益	81	<b>▲109</b>	▲190	為替影響 +10 構造改革効果 ±0	<b>▲59</b>	▲95
	ROS	2.2%	<b>▲2.5%</b>	▲4.7%pt		<b>▲3.7%</b>	▲6.6%pt
	セグメント別FCF		<b>▲406</b>				
発電システム	売上高	2,287	<b>2,835</b>	+548		<b>1,060</b>	+281
	営業損益	71	<b>▲74</b>	▲145	(▼) 東芝プラントシステム(株)のPJ案件コスト精査 発電システムに係る製品保証引当金等	<b>▲60</b>	▲88
	ROS	3.1%	<b>▲2.6%</b>	▲5.7%pt		<b>▲5.7%</b>	▲9.3%pt
原子力 火力・水力	売上高	778	<b>933</b>	+155	(↗) 安全対策工事関連の工事進捗差等	<b>351</b>	+122
	売上高	1,509	<b>1,902</b>	+393	(↗) 既受注案件の工事進捗等	<b>709</b>	+159
送変電・配電等	売上高	1,369	<b>1,674</b>	+305	(↗) 送変電・配電システム、太陽光発電システム	<b>569</b>	+81
	営業損益	25	<b>▲21</b>	▲46	(▼) グリッド案件の構成差	<b>2</b>	▲11
	ROS	1.8%	<b>▲1.3%</b>	▲3.1%pt	発電事業における燃料費・海上輸送費高騰	<b>0.4%</b>	▲2.3%pt
その他	売上高	▲41	<b>▲107</b>	▲66		<b>▲32</b>	▲20
	営業損益	▲15	<b>▲14</b>	+1		<b>▲1</b>	+4

※ セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。  
 ※ 21年度実績は送変電・配電等とその他で一部を組み替えております。

# インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21/1-3Q	22/1-3Q	差	主な差異要因	22/3Q	対前同
インフラシステム ソリューション	売上高	4,166	<b>4,450</b>	+284	為替影響 +147	<b>1,448</b>	+3
	営業損益	69	<b>83</b>	+14	為替影響 +4 構造改革効果 ±0	<b>51</b>	▲15
	ROS	1.7%	<b>1.9%</b>	+0.2%pt		<b>3.5%</b>	▲1.1%pt
	セグメント別FCF		<b>▲197</b>				
公共インフラ	売上高	2,406	<b>2,295</b>	▲111	(▼) 社会システム事業の規模減	<b>717</b>	▲148
	営業損益	129	<b>88</b>	▲41	(▼) 社会システム事業の減収による減益	<b>25</b>	▲48
	ROS	5.4%	<b>3.8%</b>	▲1.6%pt		<b>3.5%</b>	▲4.9%pt
鉄道・産業システム	売上高	2,156	<b>2,521</b>	+365	(↗) 産業システム事業の規模増、為替による増収	<b>860</b>	+134
	営業損益	▲60	<b>▲5</b>	+55	(↗) 産業システム事業の増収による改善	<b>26</b>	+33
	ROS	▲2.8%	<b>▲0.2%</b>	+2.6%pt		<b>3.0%</b>	+4.0%pt
その他	売上高	▲396	<b>▲366</b>	+30		<b>▲129</b>	+17

※ セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# ビルソリューション

単位:億円

	21/1-3Q	22/1-3Q	差	主な差異要因	22/3Q	対前同
ビルソリューション						
売上高	4,345	<b>3,484</b>	<b>▲861</b>	為替影響 +203 (↗) 昇降機 (海外)、照明 (↘) 空調事業連結除外影響、昇降機 (国内)	<b>903</b>	<b>▲584</b>
営業損益	179	<b>41</b>	<b>▲138</b>	為替影響+13 構造改革効果 ±0	<b>34</b>	<b>▲43</b>
ROS	4.1%	<b>1.2%</b>	<b>▲2.9%pt</b>	(↘) 空調事業連結除外影響 昇降機 (国内)、照明	<b>3.8%</b>	<b>▲1.4%pt</b>
セグメント別FCF		<b>124</b>				

※ 2022年8月1日の株式譲渡完了に伴い、東芝キャリア(株)は当社の連結対象から外れています。

※ セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。



# デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21/1-3Q	22/1-3Q	差	主な差異要因	22/3Q	対前同
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	6,598	<b>6,001</b>	▲597	為替影響 +730	<b>1,969</b>	▲300
	営業損益	558	<b>292</b>	▲266	為替影響 +186 構造改革効果 ±0	<b>90</b>	▲121
	ROS	8.5%	<b>4.9%</b>	▲3.6%pt		<b>4.6%</b>	▲4.7%pt
	セグメント別FCF		<b>▲246</b>				
半導体 <sup>※1</sup>	売上高	2,685	<b>3,166</b>	+481	(↗) (半) 産業向けなど市況堅調 (↗) (N) マスク描画装置販売増	<b>1,039</b>	+88
	営業損益	381	<b>486</b>	+105	(↗) (半)/(N) 増収による増益	<b>149</b>	▲5
	ROS	14.2%	<b>15.4%</b>	+1.2%pt		<b>14.3%</b>	▲1.9%pt
HDD他 <sup>※2</sup>	売上高	3,913	<b>2,835</b>	▲1,078	(↘) (H) モバイル/デスクトップHDD市場の縮小 (↘) (H) ニアラインHDD市場の調整 (↘) (転) 商流変更	<b>930</b>	▲388
	営業損益	177	<b>▲194</b>	▲371	(↘) (H) 減収による減益	<b>▲59</b>	▲116
	ROS	4.5%	<b>▲6.8%</b>	▲11.3%pt	(↘) (H) 製品保証引当金の計上 (注)	<b>▲6.3%</b>	▲10.6%pt

注: 特定顧客と品質認識について協議中であり、会計基準に則り適切な引当計上をしている。影響額は約▲120億円。

※1: ディスクリート、システムLSI、(株)ニューフレアテクノロジー

※2: HDD、部品材料、転売等

(半): ディスクリート、システムLSI

(H): HDD (N): ニューフレアテクノロジー

(転): 転売

# リテール&プリンティングソリューション デジタルソリューション

単位:億円

		21/1-3Q	22/1-3Q	差	主な差異要因	22/3Q	対前同
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	3,346	<b>3,768</b>	+422	為替影響 +385 (↗) (R)増収、(P)増収	<b>1,306</b>	+177
	営業損益	87	<b>▲84</b>	▲171	為替影響 +5 構造改革効果 +12	<b>▲39</b>	▲83
	ROS	2.6%	<b>▲2.2%</b>	▲4.8%pt	(↗) (P)増益 (↘) (P)のれん減損 <sup>※1</sup> ▲206、(R)減益	<b>▲3.0%</b>	▲6.9%pt
	セグメント別FCF		<b>▲100</b>				
					(R):リテール事業 (P):プリンティング(ワークプレイス)事業		
		21/1-3Q	22/1-3Q	差	主な差異要因	22/3Q	対前同
デジタルソリューション	売上高	1,561	<b>1,589</b>	+28	為替影響 ±0 (↗) 官公庁向けシステム、民間向けシステム (↘) 中部東芝エンジニアリング売却影響	<b>541</b>	+15
	営業損益	132	<b>135</b>	+3	為替影響 ▲5 構造改革効果 ±0	<b>52</b>	+5
	ROS	8.5%	<b>8.5%</b>	+0.0%pt	(↗) 増収による増益 (↘) 中部東芝エンジニアリング売却影響	<b>9.6%</b>	+0.7%pt
	セグメント別FCF		<b>165</b>				

※1 米国会計基準に基づく東芝連結上の会計処理であり、東芝テック連結上は日本会計基準に従ってのれんの均等償却を行っており、当該残高については21年度末時点でほぼ償却済み。

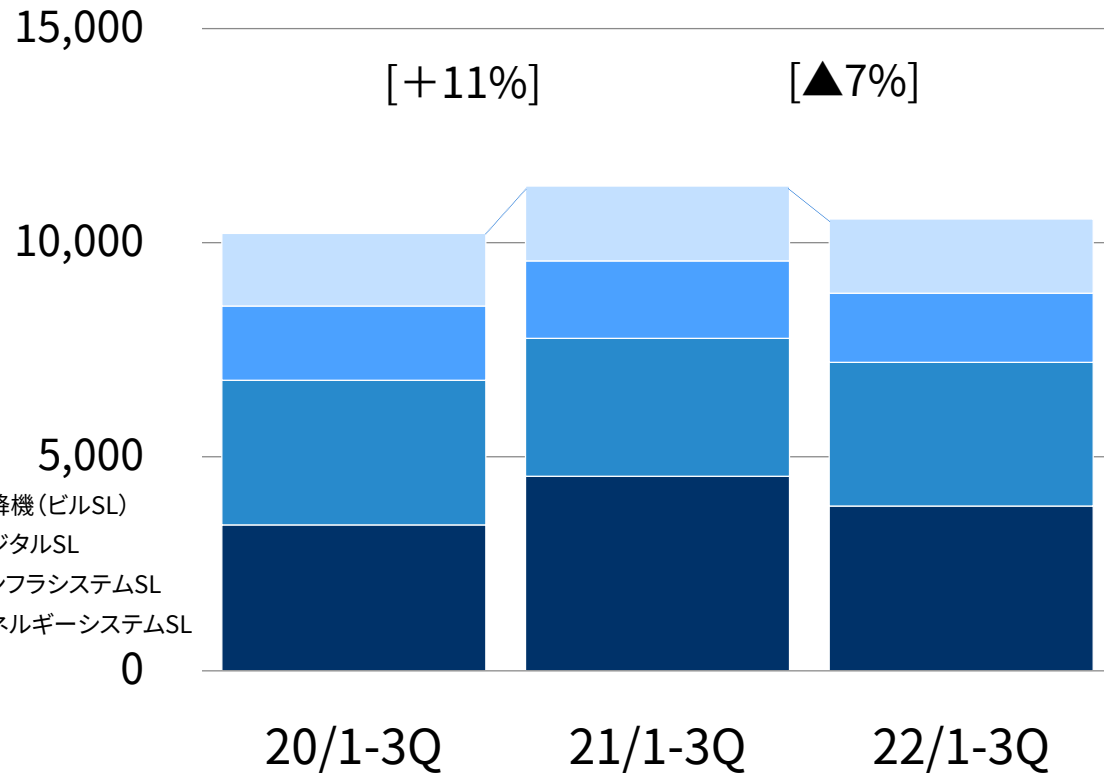
※ セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# 受注高 受注残 推移

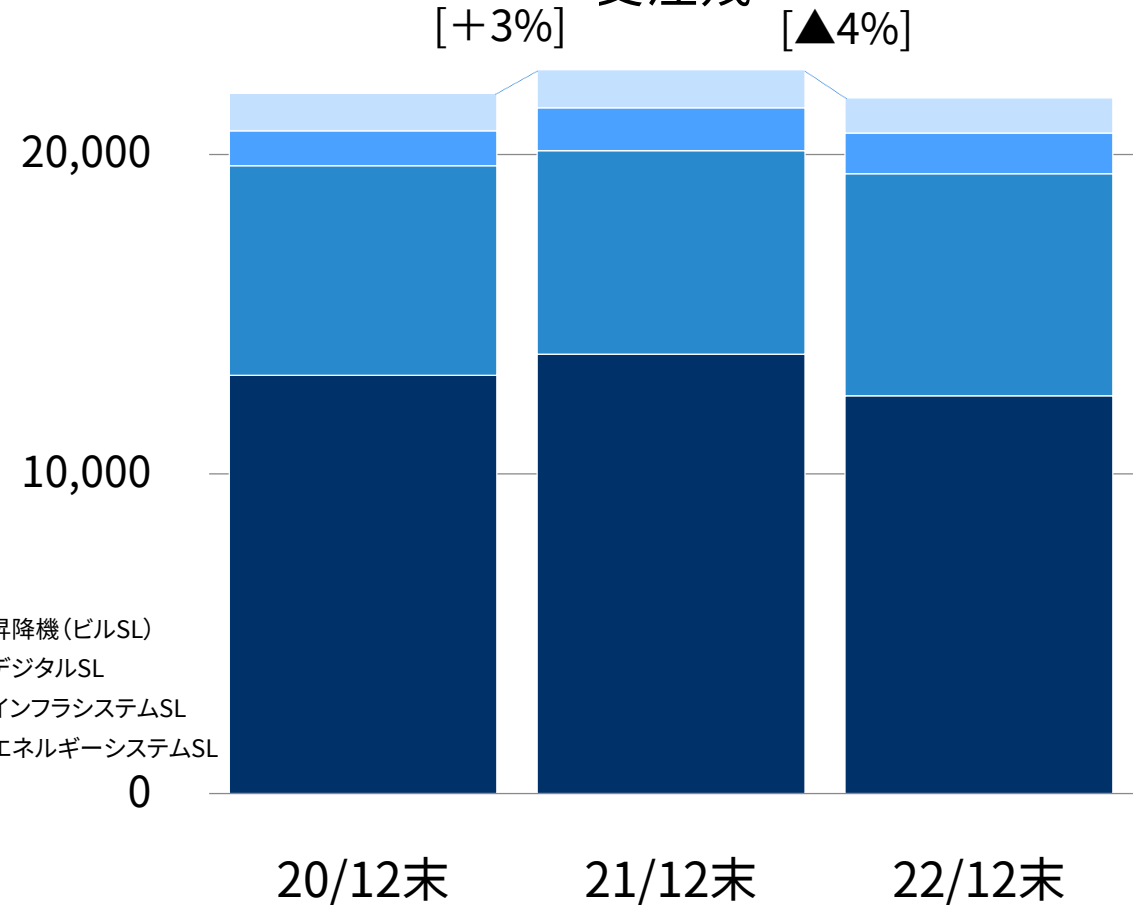
## 受注高、受注残ともに堅調に推移

単位:億円

### 受注高



### 受注残

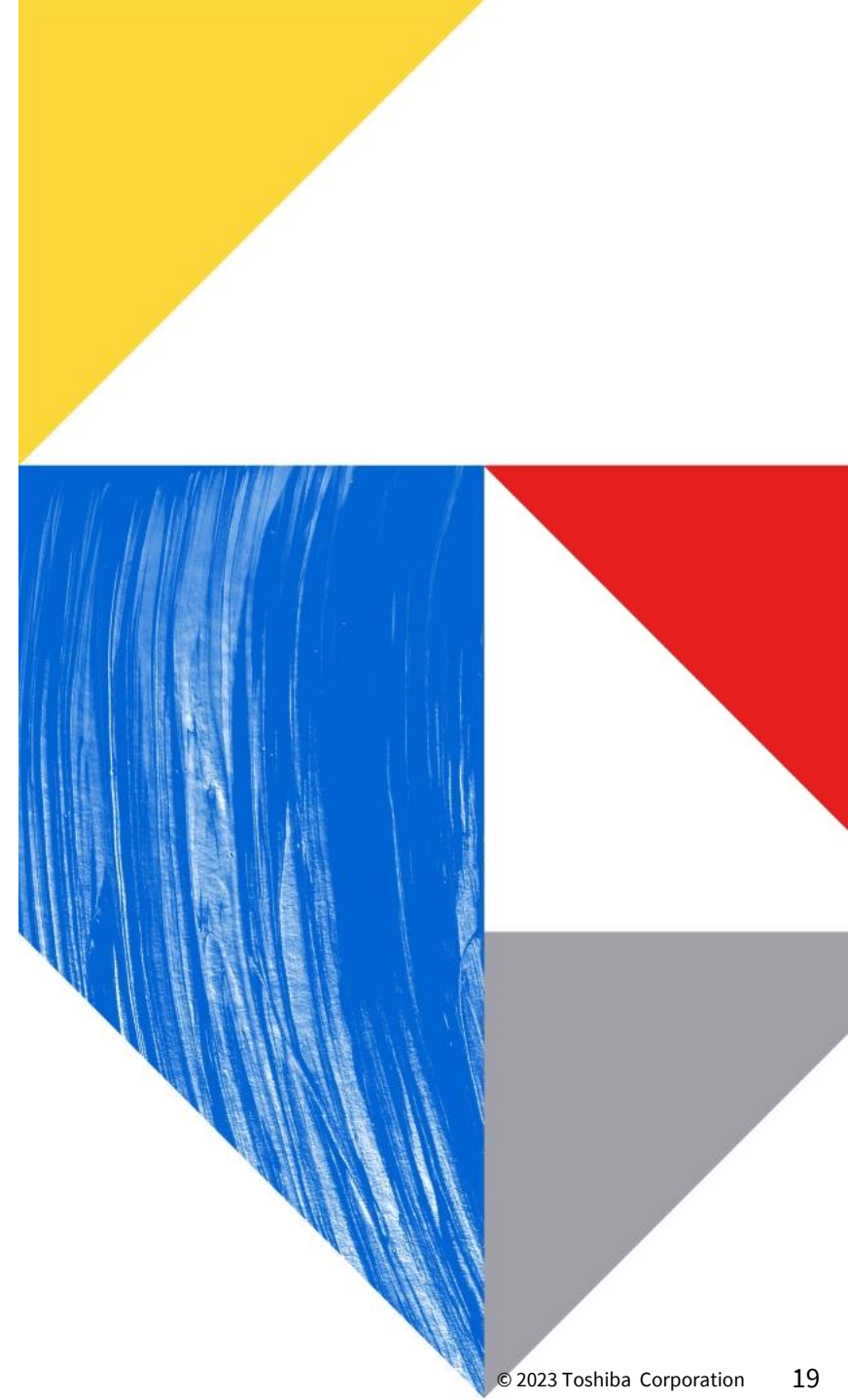


※ ”SL”はソリューションの略

※ 受注高及び受注残は、社内管理上の経営指標です。受注残は、四半期報告書で公表している残存履行義務とは異なります。

# 03

## 2022年度業績予想



# 業績予想 全社

	21年度 実績	22年度 業績予想	差	対前回予想 (11/11公表)
売上高 伸長率	33,370	<b>33,200</b>	▲170 ▲1%	▲300
営業損益 ROS	1,589 4.8%	<b>950 2.9%</b>	▲639 ▲1.9%pt	▲300 ▲0.8%pt
EBITDA EBITDAマージン	2,441 7.3%	<b>2,150 6.5%</b>	▲291 ▲0.8%pt	▲200 ▲0.5%pt
税引前損益	2,391	※ <b>1,900</b>	▲491	▲650
当期純損益	1,947	※ <b>1,300</b>	▲647	▲600
ROE	16.4%	※ <b>10.8%</b>	▲5.6%pt	▲4.5%pt
ROIC <sup>※1</sup>	15.8%	※ <b>9.4%</b>	▲6.4%pt	▲4.6%pt
フリー・キャッシュ・フロー	1,247	<b>400</b>	▲847	▲800

単位:億円

	22/3末 実績	23/3末 見通し	差	対前回予想 (11/11公表)
株主資本	12,066	※ <b>12,000</b>	▲66	▲700
株主資本比率	32.3%	※ <b>34.0%</b>	+1.7%pt	▲0.5%pt
Net有利子負債	812	※ <b>1,800</b>	+988	+800
Net D/Eレシオ	7%	※ <b>15%</b>	+8%pt	+7%pt
期末日為替レート (米ドル)	122円	130円	+8円	▲10円

※22年度見通しは、キオクシアの持分法損益の将来見通しを織り込んでいない参考値です。

※ 2022年8月1日の株式譲渡完了に伴い、東芝キャリア(株)は当社の連結対象から外れています。  
 ※1 ROIC=(当期純損益-非支配持分帰属損益-支払利息×(1-税率))÷(純有利子負債+純資産)

# 業績予想 セグメント別

		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (11/11公表)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	5,590	6,500	+910	(+16%)	+200
	営業損益	356	250	▲106		▲160
	ROS	6.4%	3.8%	▲2.6%pt		▲2.7%pt
インフラシステム ソリューション	売上高	6,547	6,700	+153	(+2%)	▲400
	営業損益	417	440	+23		▲60
	ROS	6.4%	6.6%	+0.2%pt		▲0.4%pt
ビル ソリューション	売上高	5,990	4,400	▲1,590	(▲27%)	▲100
	営業損益	263	70	▲193		▲30
	ROS	4.4%	1.6%	▲2.8%pt		▲0.6%pt
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	4,532	5,100	+568	(+13%)	▲100
	営業損益	117	▲70	▲187		▲110
	ROS	2.6%	▲1.4%	▲4.0%pt		▲2.2%pt
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	8,598	8,000	▲598	(▲7%)	▲300
	営業損益	657	490	▲167		▲110
	ROS	7.6%	6.1%	▲1.5%pt		▲1.1%pt
デジタル ソリューション	売上高	2,306	2,400	+94	(+4%)	0
	営業損益	244	260	+16		+20
	ROS	10.6%	10.8%	+0.2%pt		+0.8%pt
その他・消去	売上高	▲193	100	+293		+400
	営業損益	▲465	▲490	▲25		+150
合計	売上高	33,370	33,200	▲170	(▲1%)	▲300
	営業損益	1,589	950	▲639		▲300
	ROS	4.8%	2.9%	▲1.9%pt		▲0.8%pt

単位:億円

※ 2022年8月1日の株式譲渡完了に伴い、東芝キャリア(株)は当社の連結対象から外れています。

# 営業損益分析(21年度→22年度)

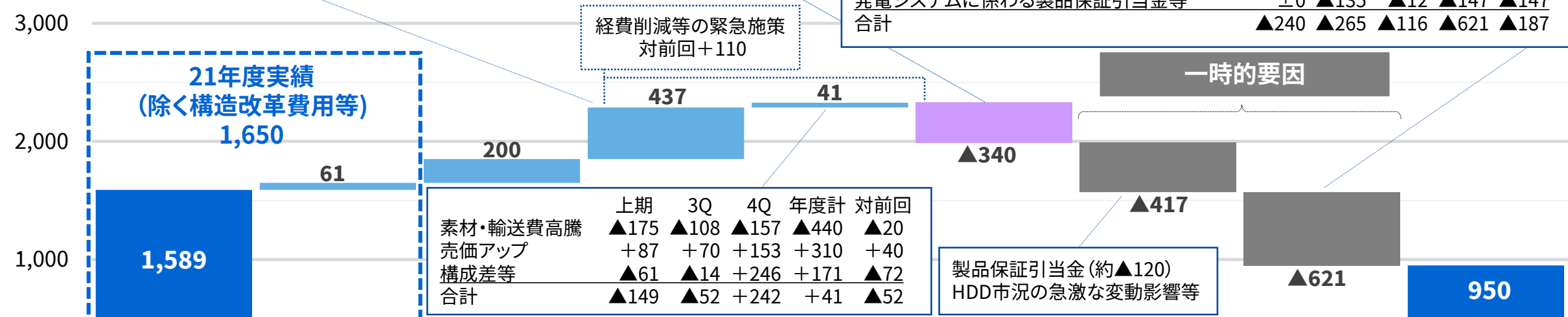
## 一時的要因の増加により前回予想(11/11公表)を変更

単位:億円

半導体不足影響	上期	3Q	4Q	年度計	対前回
	▲57	▲12	▲70	▲140	▲60

減価償却費 ▲170 (うち半導体▲82)
研究開発費 ▲170 (うち半導体▲62)
半導体、カーボンニュートラル関連等

リテール&プリンティング(含のれん減損▲206)	上期	3Q	4Q	年度計	対前回
特別委員会関連費用	▲88	▲83	▲16	▲187	▲110
関係会社 <sup>※1</sup> 連結除外影響	▲20	▲9	▲41	▲70	+60
東芝プラントシステム(株)のPJ案件コスト精査 <sup>※2</sup> 等	▲47	▲28	▲64	▲139	±0
発電システムに係わる製品保証引当金等	▲85	▲10	+17	▲78	+10
合計	±0	▲135	▲12	▲147	▲147



素材・輸送費高騰	上期	3Q	4Q	年度計	対前回
売価アップ	▲175	▲108	▲157	▲440	▲20
構成差等	+87	+70	+153	+310	+40
合計	▲61	▲14	+246	+171	▲72

上期	450	43	107	187	▲149	▲116	▲255	▲240	27
3Q	426	13	48	24	▲52	▲24	▲116	▲265	54
4Q	713	5	45	226	242	▲200	▲46	▲116	869
年度計	1,589	61	200	437	41	▲340	▲417	▲621	950
対前回(11/11)	±0	±0	▲20	▲21	▲52	+50	▲70	▲187	▲300

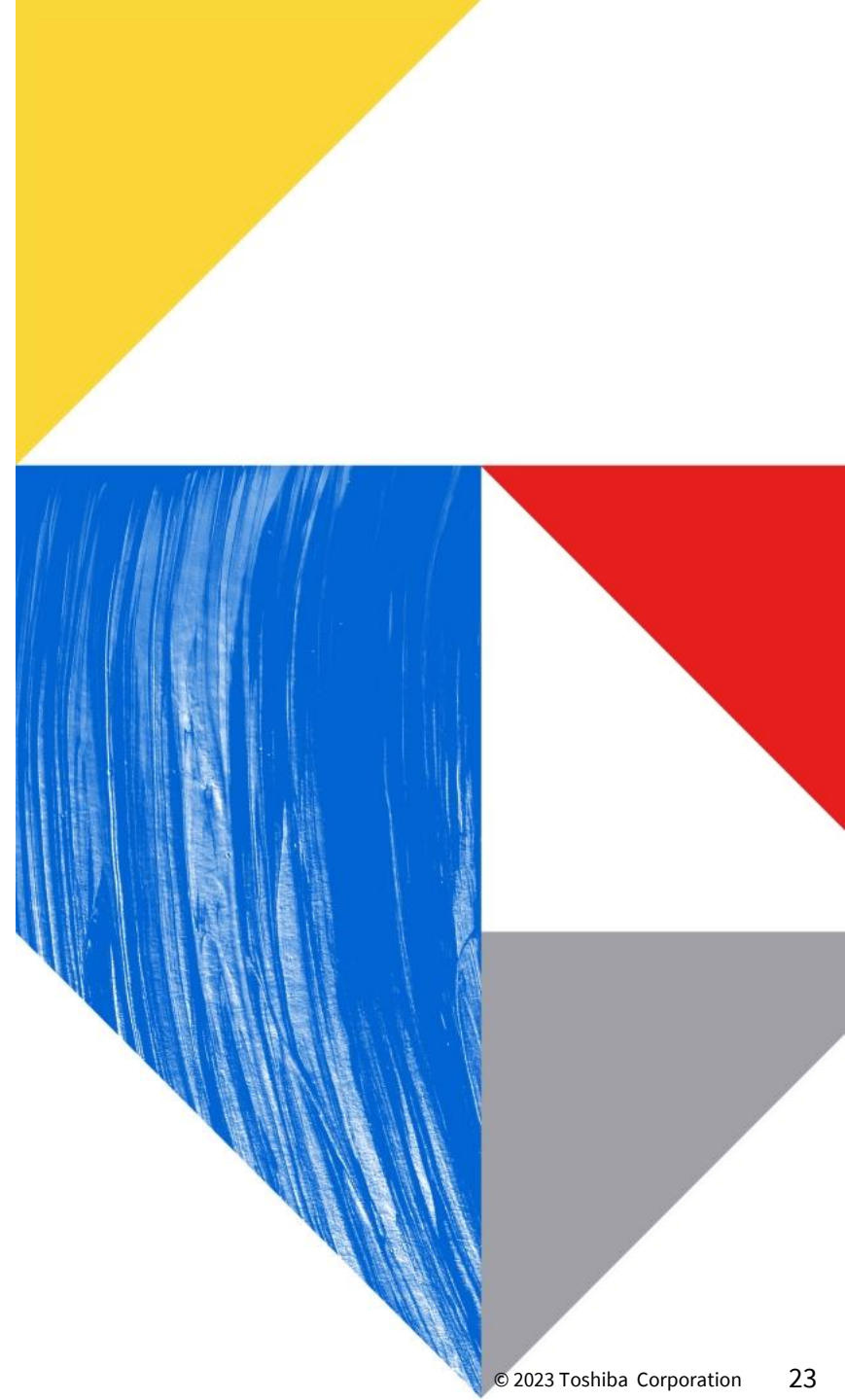
21年度実績 21年度実績 為替差 増減収等<sup>※3</sup> 収益力変動要因<sup>※4</sup> 成長固定費 HDD他<sup>※5</sup> リテール&プリンティング その他 22年度見通し

※1 東芝キャリア(株)、中部東芝エンジニアリング(株) ※2 東芝プラントシステム(株)においてプロジェクト管理を強化してコスト精査を実施し、将来の損失リスクを極小化  
 ※3 増減収、固定費増減等 ※4 構造改革、素材・輸送費高騰、売価、構成差等 ※5 HDD、部品材料、転売等



# 04

## 補足説明事項



## リテール&プリンティングソリューション:のれん減損

### 東芝連結にて米国会計基準に基づきプリンティング事業に帰属するのれんを追加減損

- 当社グループは、リテール&プリンティングソリューション部門におけるプリンティング(ワークプレイス)事業に帰属するのれんについて、米国会計基準に従い、2Qに引き続き3Qも減損の兆候の有無を検討。
- 当社の連結子会社である東芝テック(株)の継続的な株価の低下を主因として減損の兆候を認識し、減損テストを実施した結果、3Qで▲102億円、1-3Q累計で▲206億円ののれん減損を認識。
- なお、22年度12月末のリテール&プリンティング事業に係るのれん残高は225億円(減損後)。
- 当該減損処理は米国会計基準に基づく東芝連結上の会計処理であり、東芝テック連結上は日本会計基準に従ってのれんの均等償却を行っており、当該残高については21年度末時点ではほぼ償却済み。

# キオクシア持分法損益

単位：億円

		持分法損益	(PPA影響) 内数	除PPA影響
<b>21年度</b>	1Q実績	43	(▲68)	111
	2Q実績	153	(▲68)	221
	3Q実績	190	(▲74)	264
	4Q実績	35	(▲64)	99
<b>22年度</b>	1Q実績	122	(▲41)	163
	2Q実績	131	(▲16)	147
	<b>3Q実績</b>	<b>▲ 339</b>	<b>(▲15)</b>	<b>▲ 324</b>

(ご参考) ビット成長率・ASP推移

		ビット成長 (対前Q)	ASP (対前Q)
<b>21年度</b>	1Q実績	1桁%台後半の増加	10%台前半の上昇
	2Q実績	10%台後半の増加	1桁%台半ばの上昇
	3Q実績	1桁%台前半の減少	横ばい
	4Q実績	1桁%台前半の増加	横ばい
<b>22年度</b>	1Q実績	20%台前半の減少	10%台前半の上昇
	2Q実績	20%台前半の増加	10%台前半の下落
	<b>3Q実績</b>	<b>10%台半ばの減少</b>	<b>20%台前半の下落</b>

データ提供：キオクシア

## [今後の見通し]

キオクシアの持分法損益に係る今後の見通しについて提供を受けていないため、当社の連結業績については実績のみのご説明とさせていただきます。

⇒ 22年度見通しにおいては、キオクシアの持分法損益の将来見通しを織り込んでいない参考値を開示しています。

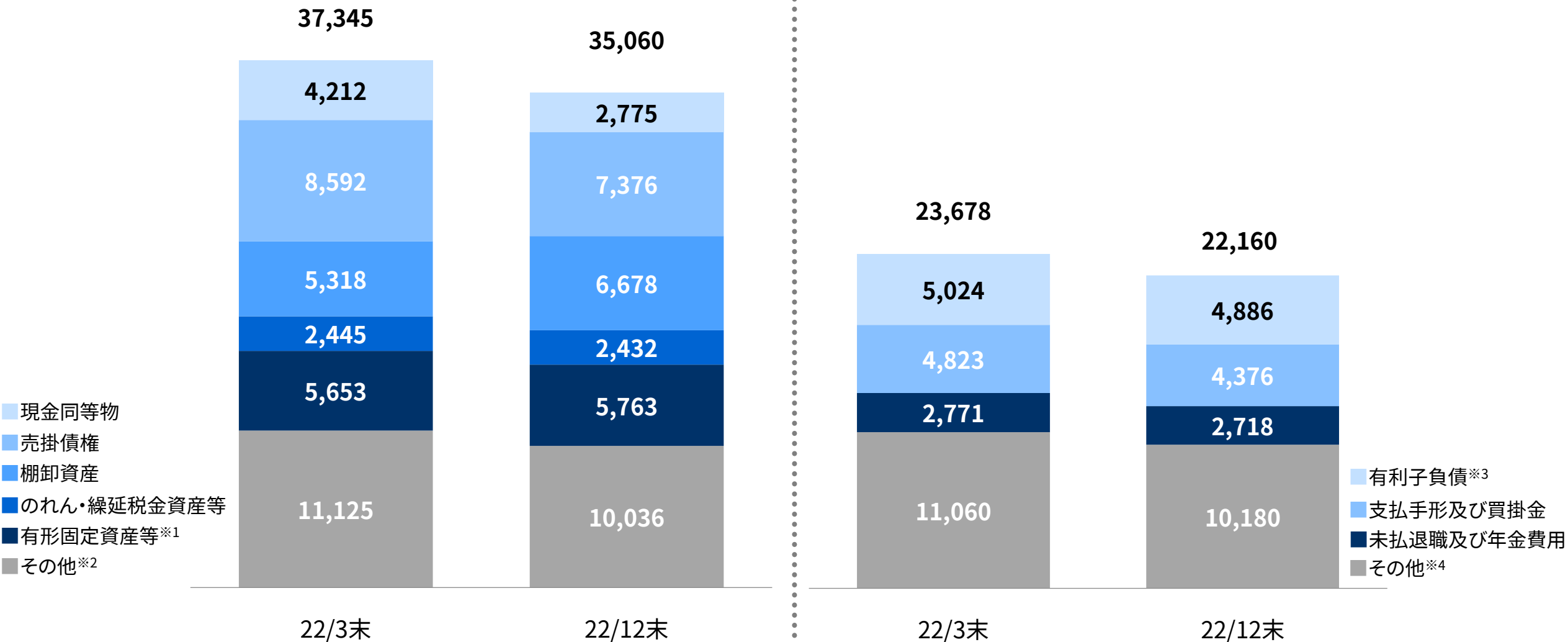
# Appendix

# 貸借対照表

単位:億円

## 資産

## 負債



※1 オペレーティング・リース使用权資産(22/3末1,050億円、22/12末919億円)を含みます。  
 ※2 東芝キャリア(株)及びその傘下会社にかかる資産(22/3末2,154億円)を売却目的保有に分類し、その他に含みます。  
 ※3 オペレーティング・リース債務(22/3末1,091億円、22/12末946億円)を含みます。  
 ※4 東芝キャリア(株)及びその傘下会社にかかる負債(22/3末927億円)を売却目的保有に分類し、その他に含みます。

# 設備投資(発注ベース)

単位:億円

設備投資(発注ベース)	21年度 実績	22年度 見通し	対前回 (11/11公表)	22/1-3Q 実績	22/3Q 実績	22/3Qの主な案件
エネルギーシステム ソリューション	120	130	▲30	44	18	
インフラシステム ソリューション	152	170	0	89	32	
ビル ソリューション	137	130	0	61	11	
リテール&プリンティング ソリューション	60	90	0	75	49	
デバイス&ストレージ ソリューション	682	1,200	0	1,027	279	パワー半導体増産投資
デジタル ソリューション	17	30	0	12	5	
その他	507	450	30	362	4	
<b>合計</b>	<b>1,675</b>	<b>2,200</b>	<b>0</b>	<b>1,670</b>	<b>398</b>	
<b>投融資</b>	<b>121</b>	<b>40</b>	<b>▲120</b>			

※ 2022年8月1日の株式譲渡完了に伴い、東芝キャリア(株)は当社の連結対象から外れています。

# エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (11/11公表)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	5,590	<b>6,500</b>	+910	(+16%)	+200
	営業損益	356	<b>250</b>	▲106		▲160
	ROS	6.4%	<b>3.8%</b>	▲2.6%pt		▲2.7%pt
発電システム	売上高	3,822	<b>4,300</b>	+478	(+13%)	+100
	営業損益	358	<b>240</b>	▲118		▲120
	ROS	9.4%	<b>5.6%</b>	▲3.8%pt		▲3.0%pt
原子力 火力・水力	売上高	1,466	<b>1,700</b>	+234		+100
		2,356	<b>2,600</b>	+244		0
送変電・配電等	売上高	1,831	<b>2,300</b>	+469	(+26%)	+50
	営業損益	22	<b>30</b>	+8		▲15
	ROS	1.2%	<b>1.3%</b>	+0.1%pt		▲0.7%pt
その他	売上高	▲63	<b>▲100</b>	▲37		+50
	営業損益	▲24	<b>▲20</b>	+4		▲25

※ 21年度実績は送変電・配電等とその他で一部を組み替えています。



# インフラシステムソリューション 主要事業内訳

## ビルソリューション

単位:億円

		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (11/11公表)
インフラシステム ソリューション	売上高	6,547	<b>6,700</b>	+153	(+2%)	▲400
	営業損益	417	<b>440</b>	+23		▲60
	ROS	6.4%	<b>6.6%</b>	+0.2%pt		▲0.4%pt
公共インフラ	売上高	4,034	<b>3,800</b>	▲234	(▲6%)	▲350
	営業損益	450	<b>380</b>	▲70		▲50
	ROS	11.2%	<b>10.0%</b>	▲1.2%pt		▲0.4%pt
鉄道・産業システム	売上高	3,090	<b>3,500</b>	+410	(+13%)	▲30
	営業損益	▲33	<b>60</b>	+93		▲10
	ROS	▲1.1%	<b>1.7%</b>	+2.8%pt		▲0.3%pt
その他	売上高	▲577	<b>▲600</b>	▲23		▲20
ビルソリューション ※	売上高	5,990	<b>4,400</b>	▲1,590	(▲27%)	▲100
	営業損益	263	<b>70</b>	▲193		▲30
	ROS	4.4%	<b>1.6%</b>	▲2.8%pt		▲0.6%pt
昇降機		2,369	<b>2,310</b>	▲59	(▲2%)	▲40
照明	売上高	1,156	<b>1,190</b>	+34	(+3%)	▲20
空調		2,496	<b>949</b>	▲1,547	(▲62%)	0

※ 2022年8月1日の株式譲渡完了に伴い、東芝キャリア(株)は当社の連結対象から外れています。

# デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (11/11公表)
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	8,598	<b>8,000</b>	▲598	(▲7%)	▲300
	営業損益	657	<b>490</b>	▲167		▲110
	ROS	7.6%	<b>6.1%</b>	▲1.5%pt		▲1.1%pt
半導体 <sup>※1</sup>	売上高	3,640	<b>4,500</b>	+860	(+24%)	0
	営業損益	490	<b>740</b>	+250		▲40
	ROS	13.5%	<b>16.4%</b>	+2.9%pt		▲0.9%pt
HDD他 <sup>※2</sup>	売上高	4,958	<b>3,500</b>	▲1,458	(▲29%)	▲300
	営業損益	167	<b>▲250</b>	▲417		▲70
	ROS	3.4%	<b>▲7.1%</b>	▲10.5%pt		▲2.4%pt

※1 : ディスクリット、システムLSI、(株)ニューフレアテクノロジー

※2 : HDD、部品材料、転売等

**TOSHIBA**